



味噌汁が深い



国 籍 中国
職 種 介護
実習実施者 社会福祉法人昌明
福祉会
監 理 団 体 PNJ 事業協同組合

李 平
LI PING

味噌汁と言ったら何を浮かべますか？おふくろの味？それとも初めての失敗談？きっと皆それぞれの物語がありますよね。技能実習生の私は勿論味噌汁を食べたことはありません。アニメの中でよく食卓に出た和食のスープぐらいにしか知りませんでした。味噌汁のデビューは組合の集合講習の初日でした。

私は所属している組合はちょっと変わっています。昼ごはんは組合のスタッフと一緒に食べます。味噌汁は健康にいいからお昼に出さなければならぬのは組合の先輩たちから代々伝わってきた暗黙のルールです。味噌汁は簡単そうですが、美味しく作ることは簡単ではありません。毎回出しても、日本人全員がまずそうな顔をしました。みんなが認めるおいしい味噌汁を作るためには本当に苦労しました。

卒業の前日、理事長が味噌汁を一口飲んだら、「今日の味噌汁は誰の担当ですか？」と聞きました。「私、私です！」と手を高く上げました。「おお、李さん、うまいね。」と褒めてくれました。「でもなあ、君達の味噌汁がうまくなった時は、もうさようならと言う時だよね。」この瞬間、努力が認められるように、叫びたい

ほど嬉しかったです。

今、老人ホームで働いて、もう3ヶ月過ぎました。仕事中有ることに気づきました。それは利用者様も毎日味噌汁は欠かせないです。どうして日本人が味噌汁ではないとダメですか。私は先輩に聞きました。先輩は「味噌は発酵食品です。体にはいいですし、肌にもいいですよ」と言ってくれました。「そうですか、私も作れますよ。」「上手いと」組合の理事長に褒められたと先輩に自慢しました。翌日、私が味噌汁を作る番になりました。自信がありましたが、職場で初めて披露することにはさすがに緊張です。以前と同じように、私の味噌汁を待ってくれる利用者様の笑顔 pensando、味見しながら慎重に作りました。いつもの通り、料理に味噌汁を添えて、利用者様の前に運びました。料理を食べ始め、あれ？反応がない！もしかして、美味しくないかしら？先輩は味噌汁を一杯取って、心配そうな私の前に「いただきます。」と言いながら味噌汁を口に運びました。「美味しいじゃん！」ほっとしました。言わないのは違和感のないということですね。言葉より行動です。重要なのは褒め言葉ではなく、利用者様の知らないうちによりいいサービスを提供することです。利用者様の笑顔を見れば、心から安心して、嬉しく思います。それは何よりの達成感です。

今、職場で毎日味噌汁を作っています。利用者様に「おいしい」と言われています。もっともっとおいしい味噌汁を作ってあげたいと日々考えています。味噌汁のふれあいを通して、日本の文化や日本人の気持ちがだんだん分かるようになった気がします。味噌汁は日本人にとってたかが味噌汁かもしれませんが、私にとっては味噌汁が当に深いですね。